

2015年11月4日

『第17回グリーン購入大賞』審査結果の発表について

グリーン購入ネットワーク（事務局：東京都中央区 会長：平尾雅彦）では、グリーン購入に関する優れた取り組みを表彰する『第17回グリーン購入大賞』の受賞団体を以下のとおり決定いたしました。

大賞・環境大臣賞	大賞・経済産業大臣賞
民間団体・学校部門	中小企業部門
国立大学法人三重大学	株式会社初田製作所

第17回受賞団体一覧

賞	受賞団体	タイトル
大賞・環境大臣賞	国立大学法人三重大学	三重大学スマートキャンパスの取り組みと、学生・教職員による MIEU ポイントなどの環境活動
大賞・経済産業大臣賞	株式会社初田製作所	100年後の未来をもっとグリーンに。ECO 消火器 CALMIE® を次のグローバルスタンダードへ。
大賞	オリックス自動車株式会社	テレマティクスサービス「e-テレマ」・「e-テレマ PRO」を活用したエコドライブ（CO 排出量削減）の実現
	一般財団法人中之条電力	自治体主導の新電力設立と電力の地産地消の推進
優秀賞	日本製粉株式会社	「地球に優しい環境輸送」を大切にする日本製粉グループの取り組み
	ミズノ株式会社	サプライチェーンにおける「CSR 調達」活動を通じた環境保全活動の実践とグリーン調達の実現
	有限会社生活アートクラブ	国内初、輪転機用印刷用紙「木になる紙」の共同開発 「木になる紙」採用のカタログ制作と国産材製品の積極的利用推進施策の実施
	プリンス電機株式会社	我が社ができる環境教育の実践と広報
	春日部市	環境に配慮した電力供給契約導入の取り組み
	やまなし森の紙推進協議会*	やまなし FSC の森を活かして障がい者の支援に結ぶ
審査員奨励賞	石坂産業株式会社	くぬぎの森環境塾 認定「体験の機会の場」
	株式会社エコファクトリー	輻射熱冷暖房システム「エコウィン」（環境配慮製品）の製造・販売、サービスの普及・拡大の取り組み
	カネパッケージ株式会社	空気を綺麗にする夢のパッケージのご提案（マングローブ植林による環境貢献活動）
	一般社団法人日本 WPA	スマホアプリを使って一般消費者・環境担当者向けの環境マークの画像検索と内容説明
	株式会社伊藤園、日本製紙株式会社、凸版印刷株式会社	紙パック飲料容器のアルミレス化による多様なパートナー企業との社会・環境負荷削減の取り組み

*やまなし森の紙推進協議会の協働プロジェクトメンバー：株式会社神子沢林業、株式会社マルオ林材、三菱製紙株式会社、三菱製紙販売株式会社、株式会社長田玉夫商会、株式会社内田印刷所、株式会社フジカワ紙販、株式会社サンニチ印刷、NPO 法人キャリアコンサルティング協会、NPO 法人ジョブクリエイター

審査方法・審査結果について

5月～7月の募集期間に応募のあった37件の中から書類による1次審査(8月7日)、2次審査(8月21日)および、プレゼンテーションによる本審査(9月24日)を行いました。

グリーン購入大賞「大賞」は大企業部門：オリックス自動車株式会社、中小企業部門：株式会社初田製作所、民間団体・学校部門：国立大学法人三重大学、一般財団法人中之条電力、「優秀賞」は日本製粉株式会社、ミズノ株式会社、有限会社生活アートクラブ、プリンス電機株式会社、春日部市、やまなし森の紙推進協議会、「審査員奨励賞」は石坂産業株式会社、株式会社エコファクトリー、カネパッケージ株式会社、一般社団法人日本WPA、株式会社伊藤園に決定しました。「環境大臣賞」は国立大学法人三重大学、「経済産業大臣賞」は株式会社初田製作所へ授与が決定しました。

審査総評について

第17回グリーン購入大賞では、応募テーマ「組織的なグリーン購入の推進」「環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の取り組み」「グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み」について、グリーン購入の普及・拡大に貢献されている取り組みを募集しました。地球温暖化防止対策や生物多様性保全の一環としての活動や、カーボン・オフセットやカーボンフットプリント、コースマーケティング、再生可能エネルギーなどに係る内容を含めて、幅広く募集したところ、全国から37件のご応募をいただきました。いずれも独自性があり、水準の高い内容でした。

今年度は特に、購入者(事業者と消費者を含む)に対する製品・サービスの環境情報の提供や、購入者と共にグリーン購入を進めるためのインセンティブを活用した仕組み、地域資源の活用や雇用拡大などにつながる地域に根ざした取り組み、環境に配慮した電力の提供と契約に関する取り組み、製品・サービス購入者の環境教育・人材育成などの優秀な内容が多く寄せられました。

表彰式および受賞事例発表会について

【表彰式】12月11日(金)10:10～11:10 於：エコプロダクツ2015 イベントステージ

【受賞事例発表会】12月11日(金)14:00～16:30 於：エコプロダクツ2015(会議棟102会議室)

グリーン購入大賞とは

環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度です。グリーン購入の普及に関する先進事例を表彰し、一層の取り組みを奨励するとともに、先進事例の紹介を通じてグリーン購入の普及と質的向上を図ることを目的としています。1998年に創設され、今年度は第17回となります。

- ・主催：グリーン購入ネットワーク(GPN)
- ・後援：環境省、経済産業省、農林水産省、日本経済団体連合会、WWF ジャパン、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社

グリーン購入ネットワーク(GPN)とは

グリーン購入を促進するために、1996年2月に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境情報を掲載したデータベースの運営などを行っています。2015年8月時点の会員数は2,374団体(企業1,968、行政181、民間団体225)です。ホームページ：<http://www.gpn.jp/>

グリーン購入大賞「大賞」・「大臣賞」受賞団体の取り組み概要について

大賞・環境大臣賞(民間団体・学校部門) 国立大学法人三重大学

【タイトル】三重大学スマートキャンパスの取り組みと、学生・教職員による MIEU ポイントなどの環境活動

三重大学は、平成 23 年度 10 月より「スマートキャンパス事業」として、グリーン購入特定調達品目のエアコンディショナーや LED 照明設備の新設・更新に取り組む他、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーによる発電設備とガスコジェネレーションを導入し、設備面によるキャンパスコミュニティマネジメントの充実を図っています。調達する段階では、3R の推進と絡めたグリーン購入を実践しており、リース・レンタルの活用増加による購入量の削減と職員教員のリユースの意識転換につなげています。

また、平成 24 年度(平成 23 年度は試行運用)から学生と教職員による自主的な環境活動の取り組みを見える化(ポイント化)し、インセンティブ(獲得ポイントを、環境配慮製品などに交換)を付与する制度「MIEU ポイント」によって、独自の環境活動システムとして、環境活動の実践と学生教職員へのグリーン購入製品の普及啓発を行っています。この取り組みは、学生と教職員の自主的な環境活動を通じて、個々の活動を評価・ポイント化をして、環境配慮型製品を手に入れ、さらに環境活動への意欲が継続される、という「一連のサイクルが繰り返される」ことをねらいとした取り組みで、この仕組みにより全学の環境活動が定量的に評価できる成果を上げています。

評価ポイント

大学全体でのスマートキャンパス事業に加え、学生・教職員を対象に、環境活動への意欲を継続させるために独自ポイント制を構築・運用されている点が高く評価された。この取り組みは、関係者が多く、まとめることが難しい大学という組織において、教職員、学生、大学生協などが一体となって取り組みを推進している。交換商品の予算は、三重大学生協が大学の環境活動に支援協力することを目的に確保された予算を活用するなど、他の大学も参考とすることができ、グリーン購入の拡大につなげるアイデアが特徴的である。3R・省エネを具体化するために、グリーン購入が推進され、環境負荷削減や環境意識の醸成、教職員・学生への環境配慮型製品の普及が推進される取り組みであり、今後のグリーン購入の普及・拡大が期待される。

大賞・経済産業大臣賞(中小企業部門) 株式会社初田製作所

【タイトル】100 年後の未来をもっとグリーンに。ECO 消火器 CALMIE®を次のグローバルスタンダードへ。

平成 26 年より、世界初となる透明樹脂製蓄圧式消火器 CALMIE®を販売しています。消火器はどの施設にもある、日常生活に身近な製品で、いざというときに誰でも簡単に使用できる構造が求められますが、CALMIE®は、容器を樹脂製に変更したことで軽量化したため、使用時の負担を軽減し、CO2 排出の削減に貢献しています。また、消火器の広域認定制度を業界で初めて取得し、リサイクル消火薬剤の使用を推進する他、リサイクル可能な容器素材の採用など、廃消火器のリサイクルに積極的に取り組んでいます。エコマークやカーボンフットプリントの認定取得、展示会への出展や防災関係者や地元の小学生、全国の防火クラブなどによる見学を通じた、購入者への情報提供・コミュニケーションを通じて、環境配慮された消火器の認知度の向上・普及に寄与しています。

評価ポイント

透明で軽いという新たな機能の具現化だけでなく、消火器の回収、リサイクル、消火薬剤の再利用など、環境面での貢献が大きい。消火器においても、CO2 排出量の削減や環境配慮されていることを、グリーン購入を意識していない購入者に伝え、新たな気付きの機会となることを期待したい。また、製品への環境配慮のみならず、軽量化による利便性の向上やユニバーサルデザイ

ンの採用など、誰もが簡単に使用できる仕様となっていることが高く評価された。世界遺産や福祉施設、保育園などでの導入が進んでいることから、環境に配慮された消火器がさらに普及することを期待したい。

グリーン購入大賞「大賞」受賞団体の取り組み概要について

大賞(民間団体・学校部門) 一般財団法人中之条電力

【タイトル】自治体主導の新電力設立と電力の地産地消の推進

中之条町(群馬県)は、再生可能エネルギーを積極的に活用し、電力の地産地消の取り組みを通じて町の活性化をはかるため、平成25年に「再生可能エネルギーのまち中之条」宣言を採択し、再生可能エネルギー活用による地域創りを進めています。自然エネルギーから得られる電気を地域に供給するために、中之条町と(株)V-Powerとの共同出資により一般財団法人中之条電力を設立し、町を事業主体とする2か所の太陽光発電所を含め、町内3箇所の太陽光発電施設からの電力を地域に供給する「電力の地産地消」を具現化しています。自治体を中心とした新電力会社の設立は国内で初めてで、町役場庁舎、総合体育館、小中学校などの公共施設に電力を供給しています。農業用水を利用した小水力発電事業も平成27年度に着工予定である他、森林資源を活用した木質バイオマス事業化検討も行っており、太陽光発電、小水力発電、木質バイオマス発電と、自律した電力の地産地消を推進しています。

評価ポイント

東日本大震災をふまえ、自律した発電ならびに電力調達を実現するために、再生可能エネルギーに着目し、町として「再生可能エネルギーのまち中之条」宣言を採択し、再生可能エネルギーを活用した地域創りを進める着眼点が秀逸である。自治体主体の新電力供給による電力の地産地消は、送電時の効率性という観点からも素晴らしく、高く評価できる。太陽光による発電に留まらず、農業用水を活用した小水力発電の着工や森林資源を活用した木質バイオマス事業化の検討は、地域資源を活用した、電力やエネルギーなどの地産地消のあり方を示す取り組みで、他の地方公共団体が参考にできる好事例である。

大賞(大企業部門) オリックス自動車株式会社

【タイトル】テレマティクスサービス「e-テレマ」・「e-テレマPRO」を活用したエコドライブ(CO2排出量削減)の実現

オリックス自動車の「e-テレマ」は、通信とGPS機能を備えた車載機を搭載し、運転速度や急加速・急減速などのドライバーの挙動や、燃費、CO2排出量などの情報をリアルタイムに取得。取得した運行データを活用し、企業の車両の運行管理における『コンプライアンス』『環境』『安全』面での課題を可視化します。環境面においては、エコドライブの実践、CO2排出量削減、余剰車削減につながります。エコドライブの実践は安全運転にもつながるため、導入企業には、環境負荷削減、経費節減、安全運転と一石三鳥の効果があります。単なる車載機装着・運行データの提供に留まらず、データに基づくコンサルティングサービスまでを提供しています。

評価ポイント

「e-テレマ」を通じて得られる具体的なデータを基に、エコドライブと安全運転を実現し、環境負荷を減らす取り組みである。車輛装着機の導入によるデータ取得結果を導入企業自身が活用できるよう対応されている。かつ、「見える化」により自然にエコドライブを促す装置にコンサルティングサービスを付加した取り組みは評価できる。導入企業と連携した講習やキャンペーンの実施等が12%強の燃費改善率に表れている。エコドライブの広がり大きさや社会的影響の面から考えて有効な取り組みで、今後、レンタカーやマイカーへの普及も視野に入れて展望を描いていただきたい。

グリーン購入大賞「優秀賞」受賞団体の取り組み概要について

優秀賞(大企業部門) 日本製粉株式会社

【タイトル】「地球に優しい環境輸送」を大切にしている日本製粉グループの取り組み

日本製粉は、2000年に策定した環境方針に基づき、物流におけるエネルギーの使用に係る原単位を、前年度比1%以上低減することを目標に、トラックから鉄道・船舶輸送へのモーダルシフトなどの省エネ活動に取り組んでいます。トラックによる物流においては、グループ会社3社に呼びかけ、GPN輸配送シンボルマークを日本で初めて取得しました。グループ会社3社は、エコドライブ徹底やアイドリングストップ励行、社内勉強会を通じた燃費改善、エコタイヤの装着などの取り組みを実施しています。また、協力運送会社による環境活動への取り組み支援も行い、12社中9社がグリーン経営認証を取得しました。グリーン経営認証取得企業には、エコドライブ活動コンクールで優秀賞を受賞した企業や東京都貨物輸送評価制度で2年連続2ツ星という高い評価を受けている企業も含まれています。

評価ポイント

輸配送分野におけるグリーン購入に関係者を巻き込み、実践している好事例で、GPN輸配送シンボルマークへの取り組みや、輸配送の関連企業と協働して様々な対策に取り組む、環境負荷低減活動を行ってきたことが高く評価された。また、燃費実績が毎年向上しており、取り組みを継続的に推進されている点が大変素晴らしい。日本の高度な物流システムを活用し、グループ会社、協力会社との連携により、環境配慮と物流の効率化を高いレベルで実現し、購入者への情報提供やコミュニケーションにより、製品や企業の価値向上につながられている点も評価された。

優秀賞(大企業部門) ミズノ株式会社

【タイトル】サプライチェーンにおける「CSR調達」活動を通じた環境保全活動の実践とグリーン調達の実現

ミズノは、「良いモノづくり」にとって、商品が安全・安心で高品質であること、環境に配慮した商品であることはもちろん、その生産工程において人権、労働、環境面などが国際的な基準からみて適切であることが重要との認識に基づき、国内外の多くのパートナー、サプライヤーと協働し、2004年からCSR調達に取り組んでいます。取引開始前のCSR事前評価では、主要な新規製造委託先候補工場を「ミズノCSR調達行動規範」に基づき人権・労働慣行・環境面から評価し、取引開始基準に適合したサプライヤーからの調達を確かなものとしています。また、各地でCSR調達説明会を開催し、ミズノの考え方を説明しています。取引中のサプライヤーへのCSR監査については、主要な約240の製造委託先工場について定期的(3年で一巡)に訪問監査を実施しています。

評価ポイント

グリーン購入大賞の趣旨である「購入」活動に沿った取り組みで、モノづくりをする事業者における原材料調達段階の模範になる活動として高く評価された。また、対話と働きかけによって問題点を改善することが最重要課題という考え方は、取り組みを押しつけるのではなく、サプライヤーと協働して取り組みを進める姿勢が現れている。企業のグローバル化に伴い、サプライチェーン全体に対する対話や働きかけは参考にすることができる。ライセンス商品や二次サプライヤーへの拡大など、今後のCSR調達活動の取り組みの発展に期待したい。

優秀賞(中小企業部門) 有限会社生活アートクラブ

【タイトル】 国内初、輪転機用印刷用紙「木になる紙」の共同開発
「木になる紙」採用のカタログ制作と国産材製品の積極的利用推進施策の実施

生活アートクラブは国内初の取組みとなる、九州各地の間伐材を30%配合した「木になる紙」輪転機用印刷用紙を株式会社ファイルと協同開発しました。この「木になる紙」を自社制作のカタログチラシに採用することにより、今までにない、大きな間伐材利用に繋げることが出来ました。この輪転機用印刷用紙の採用により、単に廃棄処分される一般の通販カタログチラシとは異なり、日本の森林づくりの全体と循環型社会の構築、環境貢献を併せ持つ活動意義と捉え、3年間継続して取り組みを実施しています。自社制作カタログチラシは、環境意識の高い生協や消費者団体を通じ、国産材製品を紹介するだけでなく、誌面枠を一部割いて、国産材利用推進の意義や、印刷用紙使用のマーク表示及び環境貢献度(間伐面積、CO2削減、カーボンオフセット)・山林所有者への還元金等の数値を目視化し、消費者参加型の啓蒙運動を行うことでグリーンコンシューマーの育成と増加への活動にも力を入れています。また「木になる紙」輪転機用印刷用紙の他社への採用提案等、利用推進の輪が広がる積極的な活動をおこなっています。

評価ポイント

「木になる紙」は、第13回グリーン購入大賞(2011年)に佐賀市が大賞・環境大臣賞を受賞した、間伐材のコピー用紙であるが、それを輪転機用印刷用紙にも展開され、間伐材の有効活用と、さらなる普及拡大に貢献されている。また、自社カタログにも「木になる紙」を採用し、一般消費者を対象に、同製品の紹介はもとより、環境配慮型製品や事業者の紹介を通じ、積極的な啓蒙運動にも力を入れ、グリーンコンシューマーの育成に貢献されている点が高く評価された。今後、カタログの採用先が広がり、より多くの消費者へ普及が図られることが期待される。

優秀賞(中小企業部門) プリンズ電機株式会社

【タイトル】 我が社ができる環境教育の実践と広報

プリンズ電機は、環境配慮型照明を製造する中小企業として、環境マネジメントシステム(ISO14001)と横浜型地域貢献企業の認定を長年にわたって運用しています。その経験をふまえ、ノウハウやスキルを環境教育に展開し、作る・売る・買う立場の視点から、サプライチェーン・学生・生徒・児童・高齢者・地域など各層を対象にステークホルダーと協働した環境教育を実践し、グリーンコンシューマーの育成につなげています。これらの活動を報道記事になるよう広報することで、ビジネス、社会・地域や個人が様々な機会安心してグリーン購入を実施できる環境づくりにも貢献しています。

評価ポイント

環境配慮型製品の製造販売、環境経営にとどまらないグリーン購入の多角的環境啓発活動は大いに評価できます。第11回グリーン購入大賞(2009年)の受賞時は、環境教育の対象が小学校であったが、その対象も、取引先、学校、地域と総合的かつ継続的に多くの人に環境教育を実践しており、環境配慮意識を社会に広く浸透させようと努力している姿勢が評価できる事例である。

優秀賞(行政部門) 春日部市

【タイトル】 環境に配慮した電力供給契約導入の取り組み～環境にやさしい電力を、財布にもやさしく、手順もやさしく～

春日部市は、環境に配慮した新電力の購入を実施するために、平成25年4月に「春日部市電力の調達に係る環境配慮方針」を策定し、市内の全37小中学校の電力調達契約の入札を実施しました。新電力を導入するにあたっては、入札方法の調査から新電力導入検討委員会の設置、PPS事業者への入札参加資格登録の呼び掛け、入札手順の簡素化などを行い、既存の入札制度を活用

した導入に努めました。導入施設は、電力不足が懸念される夏季が休暇となる小中学校を導入施設とし、約 12%のコストダウンと約 51%の二酸化炭素削減にもつなげられました。さらに、経費の削減と温室効果ガス排出量の削減に繋がるよう、今後も導入施設の拡大等取り組んでいきます。

評価ポイント

行政における電力のグリーン購入の取り組みは、まだまだ十分に普及していない中、部署間の調整を行い、実施対象施設を絞り込み、成果を上げられている点が評価された。自治体の関心が高い新電力導入について、法的根拠や入札の手続き、施設の選定などの検討結果と内容は、これから電力のグリーン購入に取り組む行政機関にとってお手本となる好事例である。自治体の電力購入は環境負荷削減だけでなく、関係する事業者の取り組みを支援するなどへの影響も大きく、対象施設の拡大を通じて、さらなる電力のグリーン購入の継続・発展を期待する。

優秀賞(協働プロジェクト部門) やまなし森の紙推進協議会、株式会社神子沢林業、株式会社マルオ林材、三菱製紙株式会社、三菱製紙販売株式会社、株式会社長田玉夫商会、株式会社内田印刷所、株式会社フジカワ紙販、株式会社サンニチ印刷、NPO 法人キャリアコンサルティング協会、NPO 法人ジョブクリエイター

【タイトル】やまなし FSC の森を活かして障がい者の支援に結ぶ

やまなし森の紙推進協議会は、FSC 森林認証を受けた県有林から生産された間伐材及び未利用材と古紙を活用し、再生・FSC 認証コピー用紙「つかってみるじゃん やまなし森の紙」を販売しています。やまなし森の紙推進協議会を通じ山梨県緑化推進機構に寄付した収益金の一部は、地球温暖化防止・水源林整備・学校林整備などに使われています。平成 26 年度からは、このコピー用紙に山梨県の森林が吸収した J-VER のカーボン・オフセットを付与した商品とし、カーボン・オフセット商品であることを告知するためのシールの貼り付け作業を県内の授産施設に依頼することで、障がい者支援にもつなげています。このことにより、障害者優先調達推進法の商品としても活用できるようになり、環境貢献と福祉の和・地域とのつながりに結びつけています。

評価ポイント

森林資源の豊富な地域の特性を活かし、再生・FSC 認証コピー用紙「つかってみるじゃん やまなし森の紙」の製造販売に留まらず、カーボン・オフセットの取り組みや、障がい者施設との連携により、障がい者支援の仕組みを構築されている。地域が一体となって取り組める仕組みや取り組みの継続性が担保されている点が高く評価された。

グリーン購入大賞「審査員奨励賞」受賞団体の取り組み概要について

審査員奨励賞(中小企業部門) 石坂産業株式会社

【タイトル】くぬぎの森環境塾 認定「体験の機会の場」

産業廃棄物処理事業者である石坂産業株式会社は、迷惑産業という従来のイメージを払拭し、隠すのではなく見せることで産業廃棄物業の実態への認知を高め、環境保全のマインドを育てるための環境教育に取り組んでいます。「気づき」のプログラムでは、「壊された家」を題材に、地球温暖化防止や環境負荷削減には 4R (3R + respect (尊敬) : もったいないという意識を持つこと) が重要であることを解説する他、プラント見学や生物多様性の保全に取り組む里山で自然と触れ合うことで、生態系サービスについて考える「体験の機会の場」を提供しています。また、体験コンテンツやファシリテーターの品質向上を図るため、ISO29990 を取得し、来場者が五感で体験できる環境教育を実施しており、見せる・体験してもらう活動が社員・職員研修の場として、評価され、来場者が急増しています。

評価ポイント

自ら考えさせる体験学習は、グリーン購入を広げる観点で重要です。産業廃棄物分野において、家という身近な題材を通して、リサイクルや地球温暖化防止に関する具体的な取り組みを見せる「体験の機会の場」の提供は、多くの来場者の気付きの機会となっており、グリーンコンシューマー育成に多大なる貢献をしていると高く評価されました。

審査員奨励賞(中小企業部門) 株式会社エコファクトリー

【タイトル】 輻射熱冷暖房システム「エコウィン」(環境配慮製品)の製造・販売、サービスの普及・拡大の取り組み

エコファクトリーは、輻射熱移動の原理を応用し実用化した、輻射式冷暖房システムである「エコウィン」の製造、販売を通じて、省エネ性能の高い機器の普及・拡大に取り組んでいる。「エコウィン」は、「九州エコライフポイント」の対象商品となっており、対象製品の購入によりポイント券が交付され、ポイント取扱店でのお買い物に使用できる。展示会・体感会などを通じて普及に取り組むとともに、エアコンを熱源とした新製品「ecowin HYBRID」の売上の一部を森林保全に還元し、健全な森林の維持管理を推進する取り組みを実践している。

評価ポイント

省エネだけでなく、風が出ない体にやさしい次世代型の輻射式冷暖房システムという、地球にも人にも優しい優れた製品を開発された点、「ecowin HYBRID」の開発・普及による省エネ効果に今後更に期待できる点が評価された。また、購入者に選択しやすくする仕組みである「九州エコライフポイント」の対象商品として認定を受けることで、より身近な商品となっている。エコファクトリーは、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)国際事業の認定を得て、プロジェクトを進めており、製品開発にとどまらず、国内外における「エコウィン」の普及活動を通じて、省エネ性能の高い機器の普及・拡大による、地球環境保全を促進されることが期待される。

審査員奨励賞(中小企業部門) カネパッケージ株式会社

【タイトル】 空気を綺麗にする夢のパッケージのご提案(マングローブ植林による環境貢献活動)

カネパッケージは、梱包材のダウンサイジング化、省資源化を積極的に進め、梱包資材から発生するCO₂の削減、輸送に伴うCO₂の削減、3Rに積極的に取り組んでいます。梱包材のダウンサイジング化の推進にあたっては、協力先企業(サプライヤー)会議を実施し、弊社の設計方針、環境方針、グリーン調達方針を説明し、当社を取り巻く、サプライチェーンの中でグリーン調達のみならず、環境に対する考え方、意識付け、そして参画へと積極的に啓蒙活動を推進しています。また、グループ全体の売上の0.1%を「マングローブ植生の再生プロジェクト」の原資とし、年間100万本の植林を実施し、自社の事業を通じて排出されるCO₂をオフセットする取り組みも行っています。

評価ポイント

環境負荷の低減のため、梱包材のダウンサイジング化に取り組み、CO₂もコストも削減するという環境と経済の両立が図られている点が評価できる。中小企業において、製品の省資源化、省エネ、マングローブ植林などの多角的な環境配慮の取り組みは先進的で、本業での省資源の提案を実施し、他社との差別化を図り、売上・利益につなげています。また、従業員参加型の環境保全活動を行い、従業員の環境意識の向上につなげている点が特徴的である。引き続き本業を通じて地球環境改善に向けた継続的な取り組みを期待したい。

審査員奨励賞(民間団体・学校部門) 一般社団法人日本 WPA

【タイトル】スマホアプリを使って一般消費者・環境担当者向けの環境マークの画像検索と内容説明

印刷物の制作発注担当者にとって、たくさんある環境ラベルを簡単に検索でき、その意味を理解したいという要望があります。そこで日本 WPA は、印刷発注担当者が頻繁に目にする環境ラベルや消費財に表示されている環境ラベルを対象に、スマートフォンで検索ができ、その環境ラベルの意味を知ることができるアプリを開発し、無料で利用できるサービスの提供を始めました。使える環境ロゴ検索ツールとして、企業担当者、一般消費者に利用されるよう、情報発信に取り組んでいます。

評価ポイント

スマホアプリの活用ということで、手軽さや楽しさがあり、若者が環境問題に関心を持つきっかけとなる可能性を秘めている。また、民間団体が、氾濫する環境ラベルを整理し、わかりやすく紹介するサイトを独自に立ち上げられ、さらに機能の充実に取り組んでいることが評価された。スマートフォンという身近なツールを活用し、消費者への環境ラベルの情報提供を通じて、グリーン購入をさらに普及させていくことが期待される。

審査員奨励賞(協働プロジェクト部門) 株式会社伊藤園、日本製紙株式会社、凸版印刷株式会社

【タイトル】紙パック飲料容器のアルミレス化による多様なパートナー企業との社会・環境負荷削減の取り組み

これまで、常温流通の紙パック飲料容器は、長期保存性を高めるために、アルミ箔が使用されていました。しかし、リサイクルする際に紙とアルミ箔を分離する必要があり、その手間と分離の難しさから、既存の牛乳パックの回収網を利用できず、多くが廃棄されています。伊藤園は4年もの試行錯誤の末、日本製紙、凸版印刷と協働し、常温での流通が可能でありながら、アルミ箔を使わない(アルミレス)紙パック飲料容器を開発し、チルド流通の牛乳パックと同じリサイクルの仕組みが利用できる環境を整えました。現在、販売先との連携や、各種メディアを通じた情報発信などによりアルミレス紙パック飲料容器の市場規模の拡大を図ることで、リサイクル率の向上を目指しています。

評価ポイント

殆ど捨てられていた紙パック飲料容器(レンガ型紙パック)という身近な商品のリサイクルに道を開いたことは画期的で、アルミレス化により、リサイクルできる紙パック量を増やし、リサイクル率の向上に一役買うことが期待される。製品の高い品質に加え、回収された容器のリサイクル商品化、再販売の量の拡大など、グリーン購入の観点から今一段の取り組みの深化が期待される。

< 本件に関するお問い合わせ >

グリーン購入ネットワーク(GPN)事務局 担当: 深津

TEL.03-5642-2030 FAX.03-5642-2077 Email: gpn@gpn.jp

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9 階